

「インドアカップ研修」実施要領

国立江田島青少年交流の家

1 内容

年齢、性別、体力などに関係なく楽しむことができるスウェーデン発祥の的当て・陣取りゲームを行う。

2 ねらい

- ・グループで活動し、協調性や一体感を養う。
- ・チームゲームを通して汗を流し、仲間との交流を深める。

3 対象者

小学校第5学年以上

(保護者または引率者と組んで活動する場合は小学校第4学年以下も可能)

4 人数

最大72人(全員が一斉に行う場合)

(1チーム6人 1コート最大12人)



5 実施時期, 時間, 場所

(1) 実施時期 通年

(2) 時間 午前 9時00分～12時00分
午後 13時30分～16時30分

(3) 場所

体育館(6コート) 講堂(4コート) 武道館(2コート) 海洋科学室(1コート)
その他研修室(3室×1コート)

6 準備物

(1) 個人: 運動に適した服装 タオル 飲み物

(体育館の場合) 体育館シューズ

(2) 引率者: 救急バッグ(貸出可)

(2) 交流の家(事務室): カップルールシート コート設置図
(体育館倉庫): インドアカップセット
(設置コート数分)



<インドアカップセット一式>

7 指導及び安全管理

(1) 団体は、インドアカップの指導及び安全管理を行う。

(2) 団体は、次の役割を担う。(小規模の団体は担当を兼ねることができる。)

- ・総括責任者(全体の総括, 指導)・・・1人
- ・指導担当者(用具の準備, 後片付けの指示)・・・1人以上
- ・救護担当者(健康観察, 応急処置, AED設置場所の確認)・・・1人以上

(3) 事故発生時の処置

総括責任者は事故の状況を把握し、交流の家に携帯電話で連絡する。

8 展 開

- (1) 「物品利用希望書」の提出
団体は、「物品利用希望書」に必要事項を記入し、入所時までに交流の家へ提出する。
- (2) 研修の準備
ア 体育館倉庫からインドアカップセットを出す。
イ 携帯用救急バッグの貸出しを希望する場合は、事務室で受け取る。
ウ 研修生と一緒にコートを設置を行う。(資料「コート設置図」参照)
- (3) ゲームの説明, 指導等
ア 研修生を研修場所に集合させる。
イ 研修生の健康観察を行う。
ウ チームを編成する。
エ インドアカップセット及びルールシートを各チームに渡す。
オ 研修の目的, ゲームのルール及び進め方(資料「クッブルールシート」参照), 注意事項を説明する。
カ ゲームをスタートさせる。
キ 研修生の様子を観察する。
ク 研修生に適宜休憩をとらせるとともに, 水分補給をさせる。
- (4) 片付け等
ア インドアカップセット及びルールシートを回収する。
イ 研修生の健康観察を行う。
ウ 順位を決定する。
エ まとめ(成績発表・講評)を行う。
オ 研修場所を清掃する。(床のモップ掛け, 掃除機掛け等)
カ 研修生とともにインドアカップセットを体育館倉庫に返却(整理整頓)する。
キ 研修終了及び物品の破損の有無を事務室へ報告するとともに, 救急バッグを返却する。
- (5) その他
インドアカップセット等が破損した場合は, 実費負担の弁償となる。

9 連絡先

国立江田島青少年交流の家 Tel 0823-42-0660
0823-42-0661